

やってみよう

ディープラーニングの画像生成を使ってみよう

画像処理技術の向上により、写真や絵画を使った画像生成ができるサービスが登場しています。画像生成にはさまざまなスタイルがありますが、誰でも簡単に利用でき、ディープラーニングのイメージが簡単に掴めるものが「Craiyon (<https://www.craiyon.com/>)」です。

DALL-E と呼ばれる GPT-3 の自然言語能力に画像生成機能を加えた機械学習モデルの簡易版 (mini) を使った無料サービスで、文章を入力するだけでそれに合った画像を自動で生成してくれます。英語で入力する必要がありますが、誰でも手軽に利用できるため、AI による画像生成能力を把握するには最適です。

広がる画像生成ツール

画像生成・合成系のサービスはこの他にもたくさんあります。Craiyon と同様に文章から画像を生成する「Hypnogram (<https://hypnogram.xyz/>)」や自動でアニメキャラクターを生成する「This Anime Does Not Exist (https://thisanimedoesnotexist.ai/index_jp.html)」は誰でも簡単に使えますし、高性能で様々なバージョンが開発されている「Midjourney」や「Stable Diffusion」なども広く知られています。

この他にも「アニメ風イラストを生成する AI」「指定した絵画やイラストと同じ画風で画像を生成する AI」など様々なタイプがあり、提供される方法もウェブサービスに限らず、スマホアプリやチャットツール、デスクトップアプリケーションなど多彩です。手軽に使えるものが色々あるので、気になるものが見つければ使ってみるとよいでしょう。